

地域の課題は
自分たちで解決する！
おなか一杯便でつくる
新しい助け合いのカタチ

こどもおなか一杯便

北川副小学校運営協議会 こどもおなか一杯便事業部 大坪裕樹

登壇者紹介



北川副小学校運営協議会
こどもおなか一杯便事業部

大坪裕樹

- 2010年～2015年
佐賀市立北川副小学校PTA会長(2012～13年)副会長
- 2016年～2018年
佐賀市立城南中学校PTA会長(2018年)副会長
- 佐賀市役所 所在職中
- 北川副校区まちづくり協議会事務局

実施している地域 佐賀県佐賀市北川副小学校校区



実施している地域 佐賀県佐賀市北川副小学校校区



校区の人口 **12,478** 人

生徒数 **644** 人

事業を始めたきっかけ

事業につながる3つのキーワード

一人の男の怒り

フードバンク山梨があるぞ！

文京区でこども宅食事業が始まったぞ！

こども 分
おなかが一杯便
プロジェクト

事業の概要

おなか一杯便を一言でいうと...

お金も、人手もすべて地域で集めて、
北川副小学校に子どもを通わせる
就学援助受給世帯に食品を届ける、
地域主体の子育て応援プロジェクト

立ち上げまでの流れ

○フードバンク構想（2017年夏）

福岡県のフードバンクの話聞きに行く。スーパーも企業もすごく協力的、食料品はすぐに集まる。早速佐賀市内のスーパーや食品卸の会社に期限の近い食品を頂けないか話を聞きに行った。

- ・期限の近い食品も売り切ることで利益を確保するのが企業、簡単に食品を寄付する企業はない。
- ・いわゆる日配品は特売の目玉でどこのお店も欲しがっている。
- ・例えば、スーパーに協力してもらって特売用の日配品を買うことは可能かも。

○おなか一杯便構想（2017年秋）

譲ってもらうから買うに方針転換

- ・購入資金を集めるために寄付を募る必要が出てきた。
- ・地域の子どもを支援するには地域の支援が必要、ということで地域の各種団体に支援をお願いする（自治会長会、民生・児童委員会、こども会etc）
- ・11月に発足式（こども宅食の名前が使えなかったので、おなか一杯便）

2018年2月、7世帯から配送をスタート

おなか一杯便ではこんなことをやっています。

対象世帯

北川副小学校に通っている児童の家庭のうち、
就学援助を受給している世帯（約100世帯）

世帯数

13 世帯 / **20** 世帯（目標）

配送食品

お米や加工食品など、約**10**kg程度

配送頻度

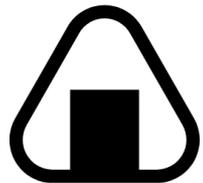
2ヶ月に**1**回（偶数月の第三土曜日）

ヒト、モノ、カネ、こんな風に運営しています。



中心メンバー
24名

佐賀市立北川副小学校の北川副小学校運営協議会内に「**こどもおなか一杯便事業部**」を設置し、有志がメンバーとして実施。



年間
1,200kg

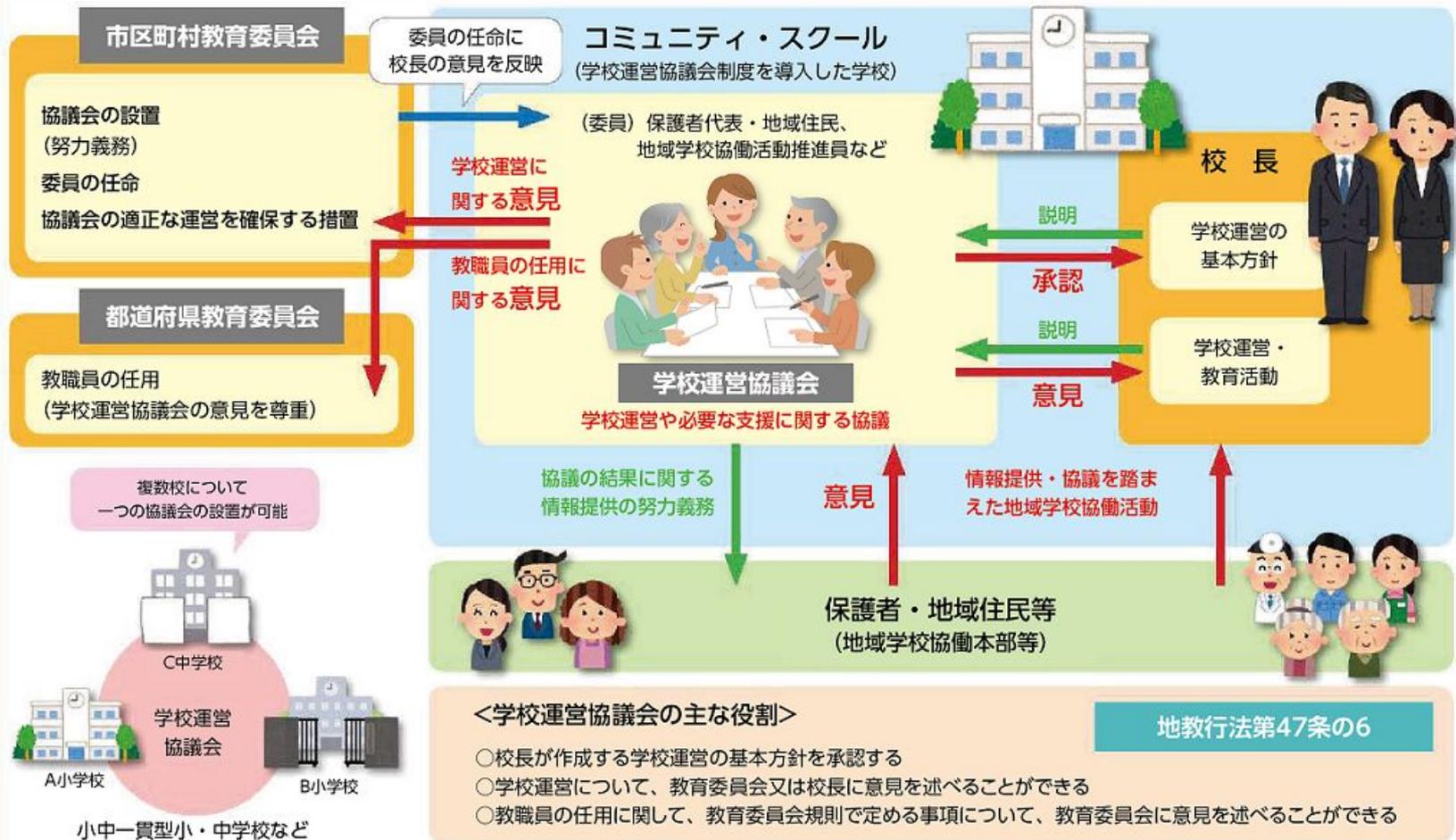
食料品は、校区内のスーパー及び菓子メーカーから購入
NPO(おてらおやつクラブ)からの菓子等お供え物の寄付
校区内の日枝神社で地域の方が田植えされた米の寄付



年間
85万円

立上資金：地域の関係者数十名からの寄付
運営資金：ふるさと納税（返礼品あり）

コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) の仕組み



資金の集め方

立ち上げ
資金

最初の1回だけを地域の方にお願い

ガッチリ応援資金 ー□ 10,000円

しっかり応援資金 ー□ 2,000円

合計で **639,000円** を頂く。

運営資金

佐賀県ふるさと納税の指定事業となる

1年目は850,000円 目標400万円

事業活動の詳細

おなか一杯便の活動の詳細

家庭と
つながる

食品を
とどける

支援に
つなげる

家庭と
つながる

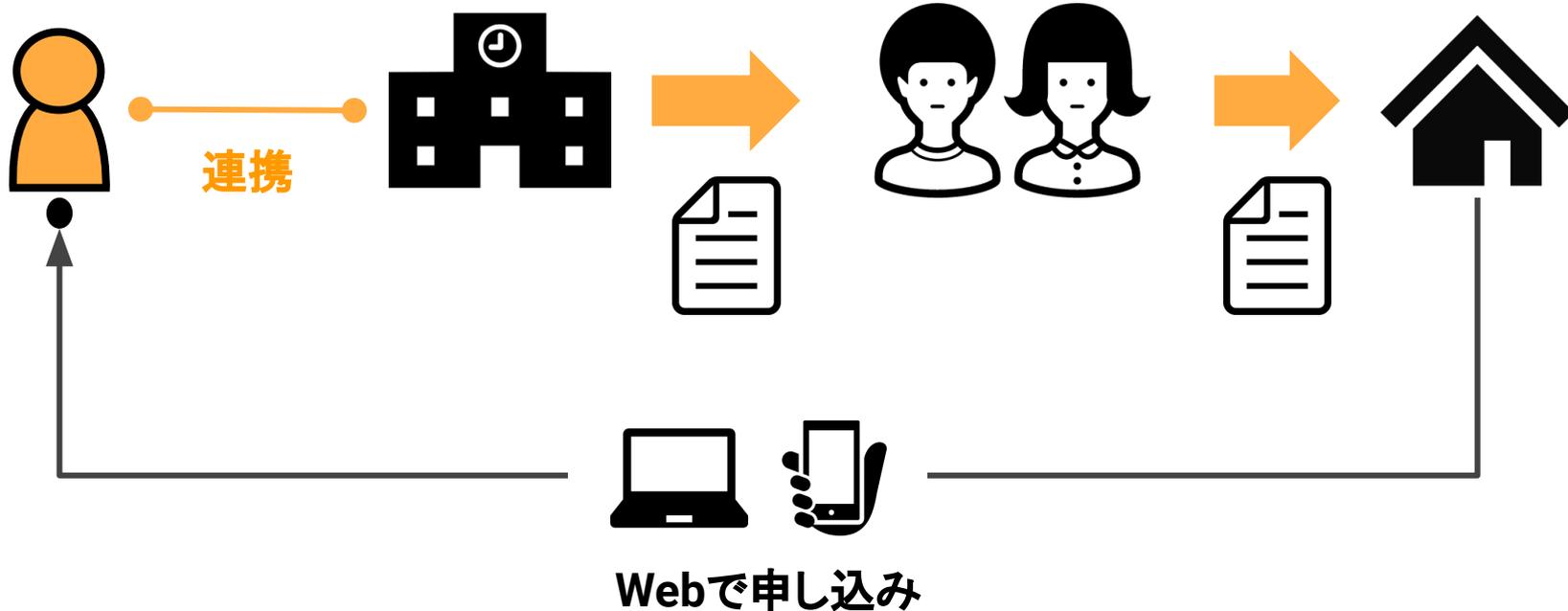


利用家庭との接点の持ち方

おなか一杯便

北川副小学校

生徒にチラシを配布



北川副小学校にお子さんを通学させている生活が困難なご家庭に
無料で、食べ物をお届けし、子育てを応援する

こどもおなか一杯便 プロジェクト

始まります!

希望されるご家庭を募集します!

ご自宅に宅配便でお届け。ご自宅で待っているだけで大丈夫!

スマホで簡単申込み。誰が申し込んだか分かりません!

個人情報は保護されます。他の人には分かりません!



どんな食べ物が届くの?

お米や飲み物・料理しやすい
レトルト食品、インスタント食品
など約10kg分



対象はどのような家庭?

北川副小学校にお子さんを
通学させている生活が困難な
ご家庭を想定しています

申込期限は平成30年1月26日(金)まで

お申込みはこちら



運営

北川副小学校学校運営協議会
「こどもおなか一杯便」事業部

onakaippaibin@gmail.com

北川副だけの取り組みです
地域のお困り事に
地域も動く!

詳しくは裏面をご覧ください

こどもおなか一杯便 プロジェクト なんでも 質問箱



誰がこの事業をやるの?

北川副小学校学校運営協議会「こどもおなか一杯便」事業部です。北川副の有志が集まり、ボランティアで運営されます。

対象はどのような家庭?

北川副小学校にお子さんを通学させている生活が困難なご家庭を想定しています。20世帯を募集します。お申込み多数の場合は抽選となります。

※個人情報保護を売られている方は住所を匿名化して保護費が賦課されますので、お申込み前に学校長の担当窓口にご相談ください。

料金はかかるの?

北川副を中心とした方々の寄付で運営されるので料金は一切かかりません。

応援してもらった人の 身元が分かるの?

応援されている方の個人名は公表されません。誰が応援されているか分かるのは責任者のみです。外部の方は当然ですが、事業メンバー、応援している方々も個人名は分かりません。

配送日は?

平成30年2月に1回目を予定しています。その後、当面は2か月に1回、将来的には月に1回を目標としています。

申込みは?

▶スマホから
スマホでQRコードを読み込んでフォームに必要事項をご記入の上、申し込んでください。



▶スマホをお持ちでない場合は?

オモテ面の問合せ先メールをお送りください。保護者様のお名前、お子さんのお名前と学年クラス、郵便番号、住所、電話番号をお知らせください。

応援期間と申込期限は?

年度更新制度です。
今回は平成31年3月までの応援となります。
申込期限は平成30年1月26日(金)までです。

事業主体

北川副小学校学校運営協議会「こどもおなか一杯便」事業部
北川副小学校学校運営協議会 会長 豊田英二
「こどもおなか一杯便」事業部 委員長 大坪裕樹

北川副校区の協力団体・組織等

北川副小学校、北川副小学校PTA、北川副まちづくり協議会、北川副校区自治会、北川副校区社会福祉協議会、北川副校区民生委員児童委員協議会、北川副校区青少年健全育成会、北川副校区子ども会、北川副公民館

協力企業・団体

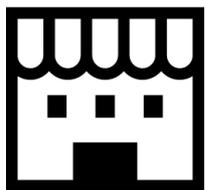
有限会社 社玉
トランスポート・久留米
大塚製菓株式会社

食品を
とどける



食品調達から配送までの流れ

地元のスーパーマーケットで食品を買い出し。



専門業者（ココネット）に配送してもらう。

偶数月の第3土曜日に梱包。
ボランティア20名のLINEのグループに協力を依頼。

その日のうちにお届け。









事業の課題

利用申し込み率が上がらない。

北川副小学校の生徒のうち、就学援助世帯は約100世帯いることがわかっているが、現在おなか一杯便の申し込み世帯は13世帯ほどしかない。

利用率向上に向けて認知度やニーズなどを検証するための調査を実施予定。

※インセンティブとして回答者に図書券をプレゼント(QRコードで配布)

※アンケートの設計、実施にはこども宅食応援団が協力。

おなか一杯便を通じて実現したいこと

- 「人を支援できる人は人から支援されたことのある人」という話を聞きます。
おなか一杯便の支援を受けた子どもたちが将来北川副の困っている人を支援して将来に続く活動にしたいと思っています。
- 小学校校区という小さい単位の貧困家庭を支援する活動なので、他の校区のモデルになれるようにノウハウやスキルを積み上げていきたい。そしてこども宅食応援団に支援してもらったようにこれからやりたい人達への支援もできたらいいなと思います。
- まずは、当初からの目標の20世帯に毎月食糧支援ができるようにすること。そして、その先におなか一杯になった子どもたちの心も一杯にできるような活動をやりたいです。